

平成 28 年 1 月 23 日 (土)

2016 新春 海ごみシンポジウム

(国際シンポジウム)

於) 東京海洋大学品川キャンパス 大会議室 (白鷹館 1 階)

09:00-09:15	開会のあいさつ (環境省・東京海洋大学)
09:15-09:55	Marine litter: Are there solutions to this global environmental problem? (海ごみ問題 : この地球全体の環境問題の解決策はあるのか) Prof. Richard THOMPSON, Plymouth University (プリマス大学リチャード・トンプソン教授)
09:55-10:35	海洋プラスチック汚染 : 生態系の化学汚染 東京農工大学 高田秀重教授
10:35-10:45	休憩
10:45-11:25	The countermeasures of UNEP and NOWPAP against marine litter. (UNEP 及び NOWPAP における海ごみ対策) Dr. Alexander TKALIN, Northwest Pacific Action Plan, NOWPAP (北西太平洋地域海行動計画 アレクサンダー・トカーリン博士)
11:25-12:05	Marine debris and microplastics in the Korean coastal environment (韓国沿岸環境における海ごみ及びマイクロプラスチック) Dr. Sang Hee HONG, Korea Institute of Ocean Science and Technology (韓国海洋科学技術院 サン・ホン・ヒ博士)
12:05-13:10	休憩
13:10-13:50	Field survey of micro-plastics in two different intertidal sediments of China (中国の 2 潮間帯における堆積物におけるマイクロプラスチックの現地調査) Dr. Hao CHEN, Associate Professor, Chinese Research Academy of Environmental Sciences (中国環境科学研究院准教授 ハオ・チェン博士)
13:50-14:30	Current status and measures taken against marine litter in Russia (ロシアにおける海ごみ問題の現状と対策) Mr. Nikolay KOZLOVSKY, Engineer, Pacific Geographical Institute of far Eastern Branch of Russian Academy of Sciences (ロシア科学アカデミー極東支所太平洋地理学研究所 ニコライ・コズロフスキー氏)
14:30-14:40	休憩
14:40-15:20	日本周辺における漂流ごみの現状 東京海洋大学 内田圭一助教
15:20-16:00	Global priorities and risk analysis in marine litter (海ごみ問題における地球規模での優先課題とリスク分析) Dr. Britta Denise Hardesty, Commonwealth Scientific and Industrial Research Organization (CSIRO) (オーストラリア連邦科学産業研究機構 ブリタ・デニス・ハーデスティ博士)

16:00-16:10	休憩
16:10-16:50	<p>Synthesis of marine debris modeling and observations: recent progress in understanding and applications (海ごみのモデリングと観察の統合：理解とアプリケーションにおける最近の進歩)</p> <p>Dr. Nikolai MAXIMENKO, University of Hawaii (ハワイ大学ニコライ・マキシメンコ博士)</p>
16:50-17:20	<p>Plastics as a threat to ocean life in the Northeastern Pacific Ocean (北西太平洋における、プラスチックが海洋生物に与える脅威)</p> <p>Dr. Peter ROSS, Vancouver Aquarium Marine Science Centre (バンクーバー水族館海洋科学センター ピーター・ロス博士)</p>
17:20-18:00	<p>日本のマイクロプラスチック汚染研究の現状と今後</p> <p>九州大学 磯辺篤彦教授</p>

プログラムは今後変わる可能性があります。現時点での最新のプログラムについては、ホームページを参照ください。

平成 28 年 1 月 24 日 (日)

2016 新春 海ごみシンポジウム

(国内シンポジウム)

於) 東京海洋大学品川キャンパス 多目的スペース (白鷹館 2 階)

09:00-09:10	開会の挨拶
09:10-9:45	番組製作サイドから見た海洋ごみ問題 NHK 報道局 高橋裕太氏
09:45-10:20	荒川でちょっといいこと ごみ拾い ~市民活動の取組みと川ごみの現状~ NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラム 伊藤浩子事務局長
10:20-10:55	海洋ごみに取り組んで 26 年、対策に向けた NGO/NPO の役割 JEAN クリーンアップ全国事務局 金子博代表理事
10:55-11:30	海洋環境保全への業界団体の取組み ~LOVE BLUE 地球の未来を~ 日本釣用品工業会 柿沼清英理事
11:30-12:05	陸域・海域一体となった海ごみ対策 香川県環境森林部環境管理課 大倉恵美課長補佐
12:05-13:10	休憩
13:10-13:45	近年における沖縄県の漂着ごみ対策 沖縄県環境部環境整備課 棚原憲実課長
13:45-14:20	日本周辺沖合海域における漂流ごみの現状 東京海洋大学 内田圭一助教他
14:20-14:40	休憩
15:40-15:15	洗顔料や歯磨きに含まれるマイクロプラスチックの問題について 大妻女子大学 兼廣春之教授
15:15-15:50	生分解性プラスチックの現状と課題 日本バイオプラスチック協会 百地正憲顧問
15:50-16:25	イオン(小売り)が取り組むプラスチック対策 イオン株式会社グループ環境・社会貢献部 金丸治子部長
16:25-17:00	総括・閉会のあいさつ

プログラムは今後変わる可能性があります。現時点での最新のプログラムについては、ホームページを参照ください。